年　報 3

昭和61年度

1987. 3

山梨県埋蔵文化財センター

序

当埋蔵文化財センターも開設されて以来5年を経過いたしましたが、この間に行なった調査は地域の歴史学の発展にささやかながら貢献して来たものと思っております。今年度は中央自動車道建設に伴う発掘調査の整理事業の最終年度でありまして、釈迦堂遺跡、二の宮遺跡など4遺跡の報告書を刊行いたしました。また、八ケ岳の麓では丘の公園地内の遺跡群や清里の森地内遺跡群の調査などを実施し、高冷地における遺跡の存在を明らかにいたしました。風土記の丘公園地内の上の平遺跡では新たな方形周溝墓なども検出されました。その他、多くの遺跡が発掘され、年度内にすでにその成果を公刊したものもあります。

また県内の市町村で行なった調査では、敷島町の天狗沢から白鳳期の瓦窯址が発見されたことが特筆されます。この瓦を使用した遺跡はまだ発見されていませんので今後の調査が期待されます。また一宮町では国史跡甲斐国分寺の寺域確認調査によって寺域が明らかにされ、後期古墳の調査からは多くの副葬品が出土いたしました。その他、昨年に引続き調査した高根町の石堂遺跡など、県内各地で多くの成果が発表されてきております。今後更に多くの成果を期待したいと思っております。

1987年3月

山梨県埋蔵文化財センター
所長　磯　貝　正　義

目　次

61年度の概要 …… 1
上の平遺跡 …… 2
岩清水遺跡・考古博物館構内古墳 …… 3
清里の森第１遺跡 …… 4
丘の公園第１・２・３・４遺跡 …… 6
郷蔵地遺跡 …… 8
一の沢北遺跡 …… 10
天神下遺跡 …… 11
山口遺跡 …… 11
クラフトパーク（峡南工芸公園）建設遺跡分布調査 …… 11
八ケ岳東南麓遺跡分布調査 …… 12
塩川ダム建設に伴う遺跡分布調査 …… 12
昭和58年度～昭和61年度発掘調査一覧 …… 13

61年度の概要

① 事業概要

今年度当埋蔵文化財センターで実施した発掘調査事業は，風土記の丘公園地内にある上の平遺跡・岩清水遺跡及び無名墳・清里の森第1遺跡・丘の公園地内遺跡・塩川ダム建設に伴う遺跡分布調査及び郷蔵地遺跡・笛吹川農業水利事業に伴う一の沢北遺跡及び天神遺跡と山口遺跡・八ケ岳広域農道遺跡分布調査・クラフトパーク遺跡分布調査である。風土記の丘建設に伴う上の平遺跡発掘調査においては，新たな方形周溝墓と共に弥生時代の住居址が検出された。また縄文時代前期末から中期中葉の住居址が多数検出された。別荘地開発に伴う清里の森第1遺跡の発掘調査では標高1,320ｍの高冷地から縄文時代中期と早期の遺跡が検出された。このことは，今後このような高冷地における遺跡の発見が増加することをものがたっている。丘の公園地内における発掘調査では，新たな遺跡が4箇所確認された。須玉町比志にある郷蔵地遺跡では，縄文時代中期後半の敷石住居が一軒検出された。考古博物館構内古墳では，耕作によって破壊された古墳の石室から多くの鉄製品が出土した。これらは鉄鏃や鎧の小札である。一の沢北遺跡では，縄文時代の住居址など5軒が検出された。クラフトパーク建設予定地内での分布調査では，従来から焔硝蔵跡といわれている所を試掘し、周囲にめぐらされた堀を確認した。さらにその西側で数段に削平された土塁を伴う遺構を発見した。

整理作業を行った遺跡は，釈迦堂遺跡・二の宮遺跡・姥塚遺跡・金生遺跡・北一の沢遺跡・金の尾遺跡・上の平遺跡である。報告書を刊行した遺跡は，釈迦堂遺跡・二の宮遺跡・姥塚遺跡・寺所遺跡・金の尾遺跡・上野原遺跡・切附遺跡・智光寺遺跡・八ケ岳東南麓他遺跡分布調査（クラフトパークを含む）・郷蔵地遺跡・横畑遺跡・弥次郎遺跡・丘の公園内遺跡である。

② 各地の概要

都留市教育委員会が実施した尾咲原遺跡の調査では，縄文時代の中期から後期にかけての遺構が検出された。高根町教育委員会が昨年に引き続き調査した石堂遺跡からは，南西に広がる方形の配石遺構が検出された。また完形の後期土偶が出土した。敷島町教育委員会が実施した羅漢寺廃寺跡の発掘調査では庫裏跡の礎石群と中世末から近世にかけての遺物が発見された。また同教育委員会が調査した天狗沢窯址からは，窯跡3基などの存在が確認された。一宮町教育委員会が実施した史跡甲斐国分寺の寺域確認調査において北東部分の溝が新たに確認された。これによって国分寺の寺域が2町×2.5町であることが明らかになった。また同町教育委員会が調査した築地古墳群では，2基の横穴式石室を持つ古墳が調査され，多量の遺物と共に人骨が検出された。甲府市教育委員会が調査した本郷遺跡では，中世末の遺構が検出された。富士吉田市教育委員会が調査した池之元遺跡からは，縄文時代の後期の住居1軒，平安時代の住居が1軒検出された。

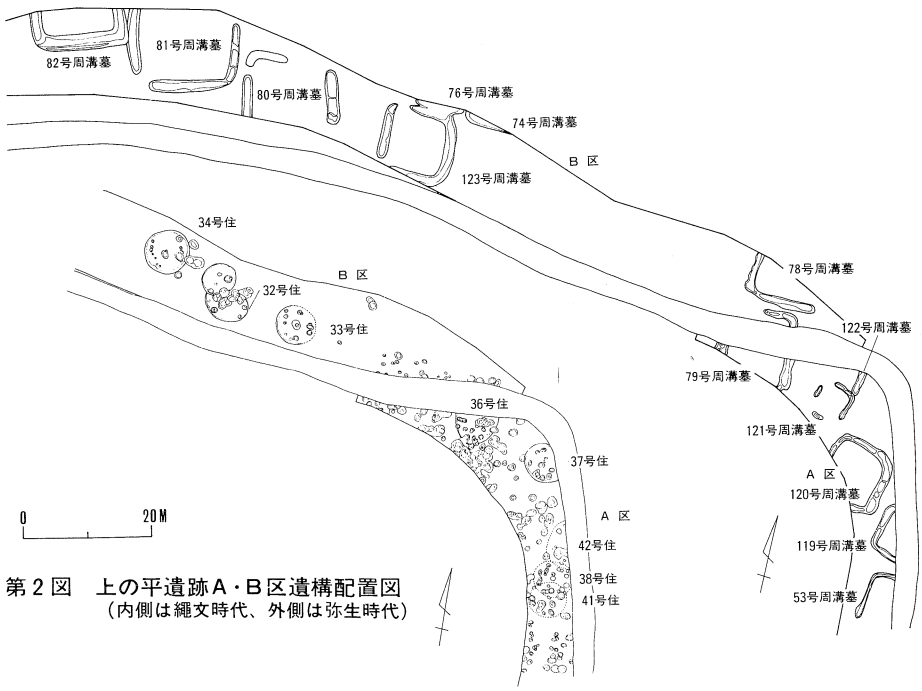
上の平遺跡（第５次調査）

所 在 地　東八代郡中道町下向山
事 業 名　公園整備事業
調査期間　昭和61年４月25日～８月30日
担 当 者　中山誠二
面　　積　4,500㎡

第５次調査区域は，第４次調査の北側に連結した地域で，幅10ｍ，長さ400ｍ程の範囲である。発見された遺構は，縄文時代の住居址８軒，竪穴状遺構１基，土壙115基，埋甕４基，ピット群３，弥生時代の方形周溝墓17基（内10基は過去確認済）平安時代の住居址２軒である。

縄文時代の住居址は，前期末葉十三菩提式期２軒，中期初頭五領ヶ台式期２軒，中期中葉藤内式期３軒，井戸尻式期１軒が検出された。前回の調査から通算すると該期の住居址は22軒となる。縄文集落は，本遺跡東北部に位置し，直径160ｍ程の環状又は弧状に巡るものと推定される。

方形周溝墓で注目すべきことは，81号周溝墓の溝内より「合せ口壷棺」が発見されたことである。本遺跡では，表面の削平が著しく主体部を含む封土部分が全く確認されておらず，埋葬施設としては初めての発見である。第１次～第５次調査で方形周溝墓の総計は124基を数えるまでに至った。



第２図　上の平遺跡Ａ・Ｂ区遺構配置図
（内側は縄文時代、外側は弥生時代）

岩清水遺跡・考古博物館構内古墳

所 在 地　東八代郡中道町下曽根小字岩清水
事 業 名　公園整備事業
調査期間　昭和61年10月１日～11月25日
担 当 者　坂本美夫
面　　積　2,700 ㎡

岩清水遺跡，構内無名墳は，盆地南東縁に連なる曽根丘陵のうちの，間門川と滝戸川とによって形成された一支丘が，平地と接する傾斜変換線上の標高257 m付近に立地する。

岩清水遺跡

本遺跡は昭和53年に発掘調査が実施された地域の南側に接した斜面上である。調査地域の特に西側で東山より発する沢に沿った付近から，土師器片が採集されたため，トレンチを等高線と直向する方向に５ｍピッチで設定し，遺構の検出にあたった。しかし，住居址などの遺構は全く検出されなかった。また表面採集された土器片については，東山より発した沢沿いに遺物包含層が確認され，上部より押し出されたり流出した土砂の中に入っていたものが，開墾などによって表面に出てきたものと判断されるに至った。なお土師器片はほとんど細片のものばかりであったが，おおよそ弥生時代末～古墳時代初めに位置づけられた。

考古博物館構内古墳

本墳は本墳の西方に位置する古墳との間に名称の混同が見られた。そのため文献などから西側に位置する古墳をかんかん塚（茶塚）古墳，本墳を考古博物館構内古墳とすることにした。

本墳は昭和56年度に県教育委員会によって，博物館建設に伴い第１次発掘調査が実施されている。その成果は多くなく，今回，公園整備に伴う第２次調査を実施した。その結果，奥壁と目された盤石から南側に横穴式石室の存在したことが，初めて確認された。

横穴式石室の残存状況は床面の敷石を除き，閉塞石とそれに続く右側壁の極一部を確認できたにすぎない。床面の敷石は河原石を使用したもので、ほぼ完全に残っており，これから石室規模を明確に捉えることができた。長方形を呈する無袖型横穴式石室で，全長 6.5ｍ，玄室長 5.6ｍ，同幅 2.1ｍを測る。

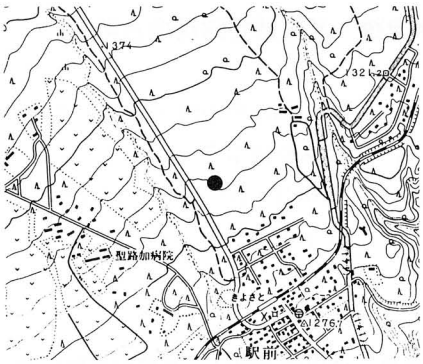
石室の敷石直上あたりから直刀，刀子，鉄鏃，桂甲小札，馬具，玉類(丸玉，小玉)，須恵器，土師器類などの副葬品が比較的豊富に発見された。中でも奥壁に寄った部分に集中していた。

本墳の石室南側には緩傾斜の斜面が徐々に高まって続いているが，閉塞石より約10ｍのところにおいて，斜面を削平して石室の入口に至る間に平坦面を作っている状況が捉えられた。なお，墳丘はほとんど残っておらず，かつ周溝等の施設も確認できなかったために，墳丘規模は明確にならなかった。

本墳は副葬品などから，おおよそ６世紀前半代に築造され，７世紀代まで追葬の行われていたことが窺える。

清里の森第１遺跡

所 在 地　北巨摩郡高根町清里
事 業 名　「清里の森」造成事業
調査期間　昭和61年６月２日
　　～６月14日
担 当 者　保坂康夫
面　　積　3,500㎡



清里の森第１遺跡

本遺跡は，県林務部が開発を進めている別荘分譲地「清里の森」地内に所在する。昭和60年に実施した，文化庁の国庫補助による八ヶ岳東南麓遺跡分布調査で発見された。今回の調査は，発見された地点で遺跡の範囲確認調査を行い，開発と文化財保護との調整をはかろうとするものである。調査の結果，遺跡の一部が造成予定の公園にかかることが判明した。この結果をふまえ，県教育委員会と県林務部とで協議し，工法を一部変更して遺跡を保存することを決定し，実施した。なお，本地域は小字名がないため，遺跡名を造成地の名称にちなみ，「清里の森第１」遺跡とした。

調査は，遺跡範囲確認調査という性格上，試掘坑を広範囲に設定する方法で行った。65ｍ×60ｍの範囲に，５ｍ間隔で試掘坑を設定した。試掘坑は 1.5ｍ四方のもので，遺構を確認した地点では，任意に拡張し，その状格や範囲の確認をした。試掘坑は，合計 132カ所設定した。

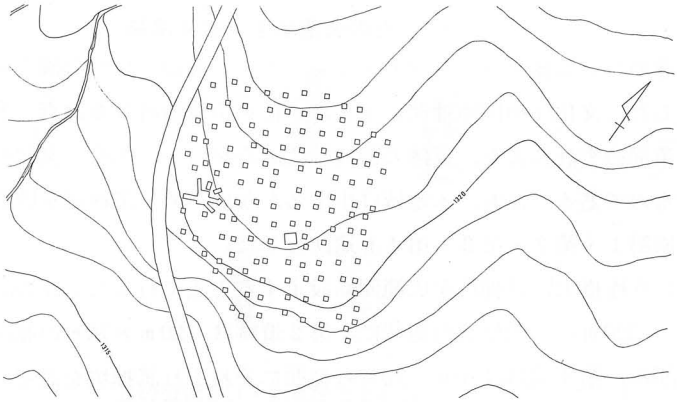
調査の結果，縄文時代中期中葉の住居址１軒，それ以前の，早期のものである可能性がある陥し穴２基を確認した。住居址の立地は，河川の開析によって削り残されたローム層の高地の西斜面である。清里の森地域には，中・小河川が無数に存在し，そうした河川が堆積させたと思われる巨礫の原野が広範囲に分布する。そうした河川の活動でもともと堆積していたローム層が削られ，残った部分が高地や台地状に地形となったとみられる。土層は，上下二分できる黒色土層とソフトローム層，ハードローム層であるが，住居址周辺には暗褐色粘質土がソフトローム層を覆っており，他の地点と異なる。この堆積については，人間活動との関係も問う必要があろう。

住居址は，おおむねひょうたん形を呈し，大小の円がややずれて重なった形態である。土層をみるかぎり重複ではない。北側の小円の中央に地床炉があり，その周辺から２個体分の土器が出土した。他に黒曜石の剝片数点が出土した。柱穴は４本確認した。南側の大円部は，西側を斜面に切られて壁がない。柱穴のうち３本は，床面と斜面との接線に平行するかたちで配列しているものと思われる。もう１本の柱穴は，炉址の北側，住居址最奥部に位置する。おそらく，西側の斜面側に大きく入口を開口し，炉址をかこむ空間と，何もない空間との，性格の違った２つの空間をもつ構造の住居址であったと思われる。

陥し穴は，住居址に切られるかたちで１基，それから南東へ25ｍ離れて１基を確認した。長さ２ｍ，幅１ｍほどで，底面が平坦で，底面に小穴があいていた。住居址に切られたものは，

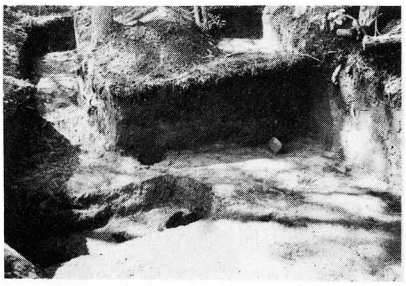
小穴2個で深さ30cmほど，もう一方は小穴3個で深さ80cmほどであるが，前者は未掘部分があるうえ住居址に切られているが，後者とほぼ同形態と思われる。両者の主軸の方向も一致する。

今後，この遺跡については，高標高地域に立地する遺跡として，その性格について検討してゆく必要がある。

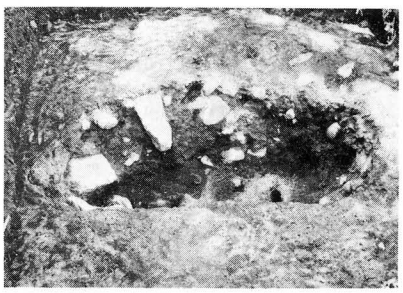


清里の森第1遺跡試掘坑配置図

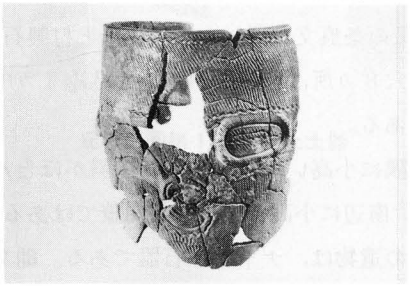
0　50m



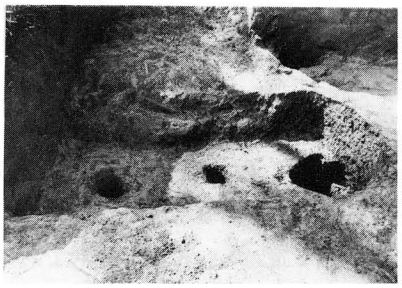
住居址



陥し穴



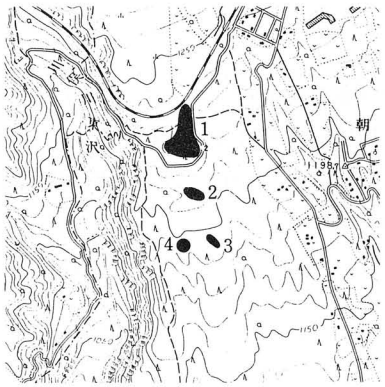
住居址内出土土器



陥し穴

丘の公園第１・２・３・４遺跡

所 在 地　北巨摩郡高根町清里
事 業 名　「丘の公園」建設事業
調査期間　昭和61年６月17日～９月５日
担 当 者　保坂康夫
面　　積　45,000㎡



丘の公園第１～第４遺跡

本遺跡は，県企業局が開発を進めている総合スポーツレクリェーション施設「丘の公園」地内に所在する。昭和59年に実施した，文化庁の国庫補助による八ヶ岳東南麓遺跡分布調査で発見された。今回の調査は，県企業局の委託により，遺跡の範囲確認調査を行い，開発と文化財保護との調整をはかろうとするものである。なお，本地域は小字名がないため，遺跡名を開発地域の名称にちなみ，「丘の公園第１・第２・第３・第４」遺跡とした。

調査は，遺跡範囲確認調査という性格上，試掘坑を広範囲に設定する方法で行った。丘の公園第１遺跡は，底辺 180ｍ，高さ 220ｍの三角形状の地域に，第２遺跡は 120ｍ×70ｍの範囲に，第３遺跡は60ｍ×80ｍの範囲に，第４遺跡は70ｍ×70ｍの範囲にそれぞれ試掘坑を設定した。いずれも，遺物が発見された試掘坑の周辺では５ｍ間隔で試掘坑を設定し，それ以外の部分では10ｍ間隔で設定した。試掘坑は，1.5ｍ×1.5ｍの大きさで，合計 571カ所設定した。

丘の公園第１遺跡は標高1,229ｍ～1,232ｍ。河川の開析によって削り出されたローム層の台地上に広く占地している。この地域は，他の地域とは違い，平坦で一定の傾斜をもつものではない。南辺に東西方向に小高い部分をもち，より西側が高くなっている。それより北側の部分は，ある面積が非常に平坦で，ほとんど傾斜がない。西側に南西方向へ下る小浅谷をもつ。小高い部分から南側へは，この地域としてはかなり急な傾斜面があり，丘の公園第２遺跡のある次の平坦面へと続く。出土遺物は，先土器時代では，二側縁加工と部分加工のナイフ形石器，槍先形尖頭器，彫器，削器など。縄文時代では，早期末の条痕文土器，中期の土器と打製石斧，後期初頭の土器，石鏃などが出土した。遺構は，陥し穴８カ所，性格不明の落ち込み２カ所を確認した。調査範囲のほぼ全域にわたる大規模遺跡である。

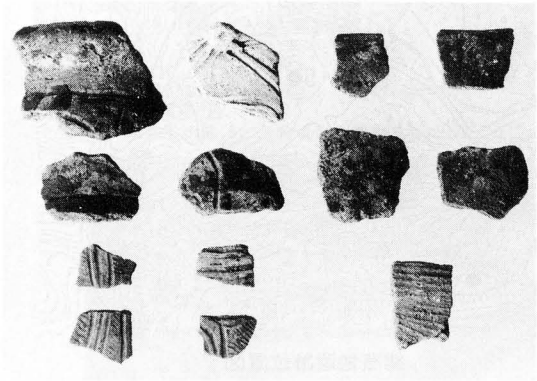
丘の公園第２遺跡は，標高1,210ｍ～1,211ｍ。南西隅に小高い地点があり，傾斜がほとんどないほど平坦で，西側に南西方向へ下る小浅谷をもつ。南辺に小高い部分が不明瞭ではあるが，丘の公園第１遺跡とほぼ同じ地形である。先土器時代の遺物は，ナイフ形石器である。縄文時代の遺物はないが，陥し穴２基が確認されている。東西60ｍ，南北30ｍほどの遺跡である。

丘の公園第３遺跡は，標高1,194ｍ前後である。やや傾斜をもつ平坦な地域に立地する。ローム層中から出土した剝片，縄文時代早期末と思われる沈線文系土器が出土した。南北30ｍ東西10ｍほどである。

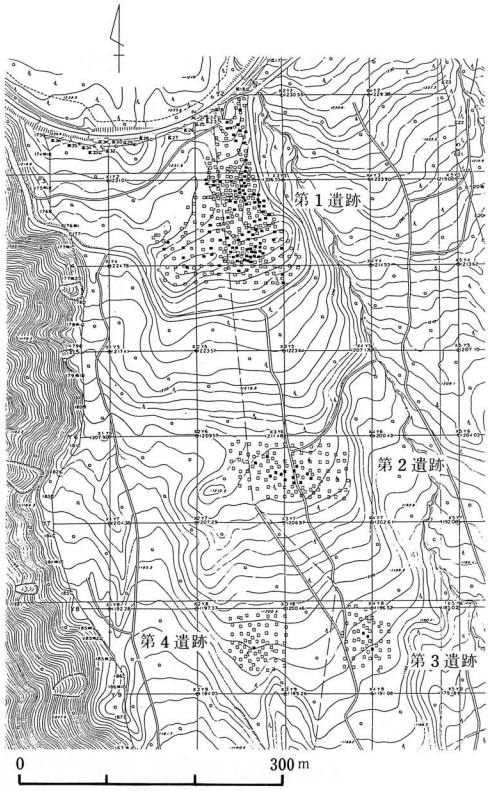
丘の公園第４遺跡は，標高1,198ｍである。やや傾斜をもつ平坦地にあるが，東側に小浅谷が入る。黒色土層中位に焼土が確認されたが，遺物は発見できなかった。出土層位からして，

焼土は縄文時代のものと思われ，遺跡のありかたの一つと考えられる。焼土の範囲は，直径50cmほどである。

丘の公園第１・２遺跡出土石器



丘の公園第１遺跡出土土器



公の公園第１～第４遺跡
試掘抗配置図

郷蔵地遺跡

所在地　北巨摩郡須玉町比志3042番地他
事業名　塩川ダム建設に伴う県道付替工事
調査期間　昭和61年10月１日～11月30日
担当者　田代　孝
面積　1,700㎡

遺跡は釜無川の支流の１つ，塩川の上流にあり，合流点から約13kmの左岸の河岸段丘に接する小台地上にある。

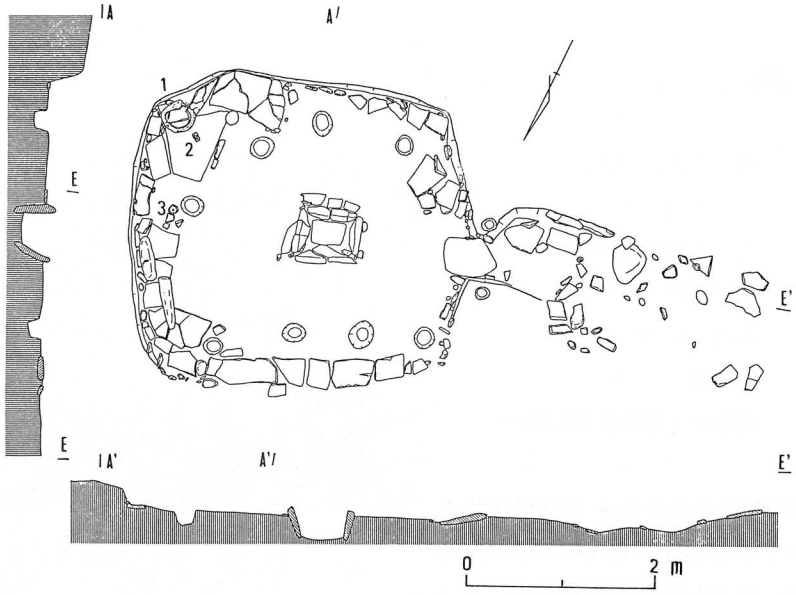
10ｍ× 170ｍほどの調査区内から，縄文時代中期後半の遺物包含地域と縄文中期の敷石住居址を１軒検出している。敷石住居は主体部が１辺約3.2ｍの方形で，西辺の中央に張り出し部が設けられている。平板状の敷石は壁際に巡らされており，特に奥壁にあたる部分の両隅に大きめの敷石がみられる。また中央部に設けられた炉址の一部と張り出し部の一部にも敷石がみられる。

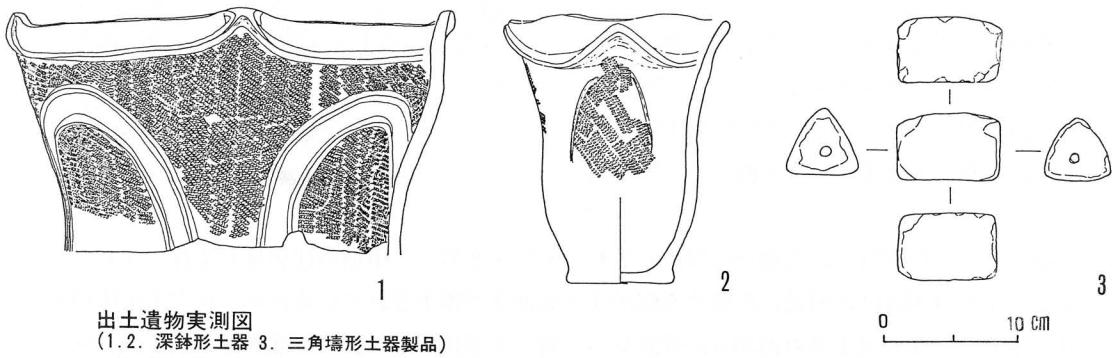
郷蔵地遺跡位置図

遺物は敷石住居址内の奥壁において，石棒，逆位の深鉢形土器，三角壇形土製品，丸石など出土しており，きわめて祭祀的，呪術的遺物であることが認められ，敷石住居の性格などを考える上で興味ある出土例であろう。なお敷石住居址の時期は，縄文中期後半で最終末に位置づけられると思われる。

山梨県における敷石住居は，最近の調査によって類例も増えつつあるが，中期後半の時期で方形プランをもつものは初出であろう。敷石住居の集成を行い，その変遷や性格を検討することが期待されている。また，従来から検討されている石棒はもとより，丸石などについても山梨の縄文時代の住居址，配石遺構からの出土例もあり，三角壇形土製品などと共に，今後これらの遺物への研究も期待されているところである。

敷石住居址平面図



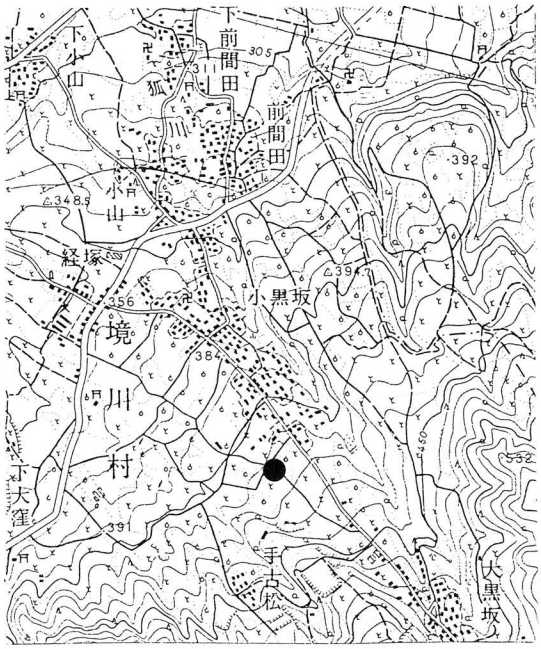


出土遺物実測図
(1.2. 深鉢形土器 3. 三角壕形土器製品)

郷蔵地遺跡遺物出土状況

一の沢北遺跡

所在地　東八代郡境川村
小黒坂字一の沢
事業名　笛吹川農業水利事業
調査期間　昭和61年10月２日～
61年11月11日
担当者　末木健，八巻与志夫
面　積　500㎡（対象面積538㎡）



一の沢北遺跡位置図

本遺跡は笛吹川左岸に広がる曽根丘陵上（標高 470ｍ）に位置する縄文時代中期を中心とする遺跡で昭和57年度から継続的に調査されている。

今回の調査で検出された遺構は，縄文時代の住居址３軒（１・２・４号），平安時代の住居址１軒（３号），中世の住居址１軒（５号），中世の溝２本，中世の柵列１本であった。

縄文時代の住居址は，前期の住居址が２軒（１号・２号），中期の住居址が１軒（４号）である。１号は調査区の南端に位置する住居址で床面まで削平されているため，柱穴と地床炉が確認された。２号は１号の南30ｍに位置し，上層に３号住居址があり，北半分が調査区域外であるが，覆土中から多くの遺物が検出された。４号は調査区の中央に位置し，西半分が調査区域外であるが，やはり覆土中から多くの土器が検出された。３号は，西南隅にカマドをもつ平安時代の住居址であるが，遺物はほとんど出土しない。

５号住居址は４隅に径50cmの柱穴をもつ中世の竪穴住居であるが，遺物は殆ど出土しない。

溝は調査区の西半分に集中しているが，時期は中世と思われる。柵列も同様な時代であろう。調査区西端にあたる減圧水槽建設地は表土が厚く１～ 1.5ｍであった。ここからは，縄文時代中期の土壙が６基検出された。

天神下遺跡

所 在 地　東八代郡一宮町土塚字天神下458
事 業 名　笛吹川農業水利事業
調査期間　昭和61年11月18日
担 当 者　末木健
面　　積　100㎡（対象面積600㎡）

本遺跡は，笛吹川の支流である日川の左岸，標高385 ｍに位置する。表面採取の結果若干の遺物の散布が認められたため，工事計画地内を重機による表土除去後に作業員によって清掃し，遺構や遺物の検出につとめた。しかし，出土遺物及び遺構は検出されなかった。

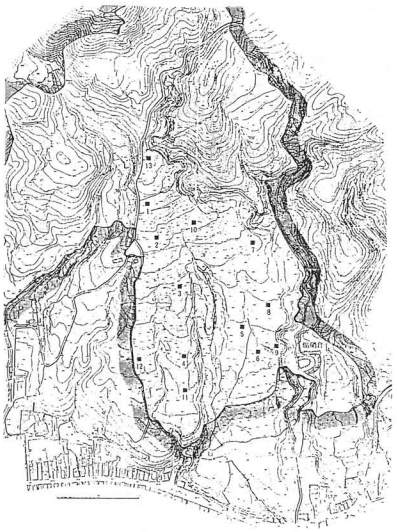
山口遺跡

所 在 地　東八代郡豊富村関原字山口153
事 業 名　笛吹川農業水利事業
調査期間　昭和61年10月14日
担 当 者　末木健
面　　積　60㎡（対象面積437㎡）

本遺跡は，笛吹川左岸に広がる曽根丘陵の東端で，御坂山系に続く山裾に位置する。表面採取によって若干の遺物の散布が認められたため，重機による表土除去後に作業員によって清掃し，遺構や遺物の検出につとめた。しかし，遺物及び遺構は検出されなかった。

クラフトパーク建設遺跡分布調査

所 在 地　南巨摩郡身延町下山
事 業 名　クラフトパーク(峡南工芸公園)建設
調査期間　昭和62年２月1日～２月28日
担 当 者　末木健，八巻与志夫
面　　積　50ha



公園計画地地形図

対象地域には，中世の焔硝蔵と伝えられる場所があり，これらの部分を試掘した。又，山中には直径10ｍ，高さ２ｍ位のマウンド上に八王子社が祭られていたが，緩斜面には原始，古代に属する集落址は発見されず，中世～近世，近代の土師質土器，陶器，磁器等が採集されている。

八ケ岳東南麓遺跡分布調査

所 在 地　北巨摩郡小淵沢町，長坂町，大泉村，高根町，須玉町
事 業 名　八ケ岳広域農道建設事業
調査期間　昭和61年９月１日～12月14日
担 当 者　田代孝
面　　積　27km（巾約10ｍ）

本調査は昭和60・61年度に国庫補助事業として実施した「八ケ岳東南麓遺跡分布調査」の対象地域である〈丘の公園・清里の森〉とは別地域を調査地としている。

調査地域は用地買収が始まったばかりで，全線のルートも確定されたのは最近である。従って用地買収済の土地及び，表面採集可能な地点のうち主要地域について試掘調査及び分布調査を行い，遺跡として次の５地点が確認された。

a　小淵沢町篠八田―縄文土器
b　高根町東割―縄文土器，土師器，須恵器
c　高根町箕輪―縄文土器
d　須玉町穴平―土師器

なお，この他に本調査の山等があるので次回の調査としたい。

塩川ダム建設に伴う遺跡分布調査

所 在 地　北巨摩郡須玉町塩川比志
事 業 名　塩川ダム建設事業
調査期間　昭和61年10月１日～12月15日
担 当 者　田代孝
面　　積　43ha

県道付替地点及びダム水没地域の表面採集及び試掘調査を実施した。須玉町立北小学校西側の試掘調査では遺構，遺物が発見されなかったが，県道部分では縄文中期終末の集落址が想定できる。ここは郷蔵地遺跡であり道路工事に先行して発掘調査を実施することになっている

なお，塩川集落の南側山頂は，中世武田氏に関係する烽火台と云われ，石積遺構が残存している。

昭和58年度県内発掘調査一覧表(58年度～61年度)

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
1	六科山遺跡	櫛形町平岡字六科山1947 外58筆	櫛形町教委	宅地造成	58. 4. 11～58. 10. 31	弥生時代～古墳時代	住居40軒
2	塚田遺跡	須玉町大蔵字塚田1728番地他	須玉町教委	圃場整備事業	58. 6. 1～58. 10. 31	中世墓地	住居2軒
3	中尾遺跡	須玉町小倉1008番地他	須玉町教委	圃場整備事業	58. 5. 16～58. 10. 31	中世城館跡	掘立建物址 溝・平安時代の住居址
4	桑原南遺跡	須玉町上津金641番地 他	須玉町教委	圃場整備事業	58. 5. 1～58. 8. 31	縄文後・晩期	平安時代の住居址
5	竹原遺跡	小淵沢町3666及び3658番地	小淵沢町教委	圃場整備事業	58. 4. 12～58. 7. 30	縄文中期	住居6軒、土拡1
6	鷹ノ巣遺跡	都留市下谷1176番地 他	都留市教委	中央道四車線工事	58. 5. 10～59. 3. 31	奈良～平安時代	
7	尾咲原遺跡	都留市朝日馬場544－1 他	都留市教委	小学校プール建設	58. 5. 20～58. 6. 15	縄文後期	住宅址、配石遺跡
8	東久保遺跡	高根町村山北割旭東久保	高根町教委	圃場整備事業	58. 5. 27～58. 7. 25	平安時代	縄文中期3軒、平安時代30軒 掘立建物址7
9	鞍掛遺跡	一宮町末木	一宮町教委	個人住宅建設	58. 6. 1～58. 6. 30	平安時代	
10	南部氏館跡	身延町梅平2955番地 外	身延町教委	学術調査	58. 8. 1～58. 9. 30	中世	
11	中段遺跡	秋山村6937番地 他	秋山村教委	ゴルフ場造成	58. 6. 6～58. 9. 30	縄文時代	
12	荒井遺跡	秋山村7248番地 他	秋山村教委	ゴルフ場造成	58. 10. 1～59. 5. 10	縄文時代	
13	真原遺跡	武川村山高3567－25	武川村教委	学術(村史編纂)	58. 7. 25～58. 8. 5	縄文時代	
14	田野平遺跡	大和村田野397－1	大和村教委	多目的集会施設	58. 7. 23～58. 8. 31	平安時代	住居址2軒
15	市子石遺跡	双葉町下今井1954 他	双葉町教委	ワイン工場建設	58. 8. 1～58. 8. 15	縄文時代	
16	野呑遺跡	高根町東井出	八ヶ岳南麓遺跡学術調査団	学術調査	58. 8. 1～58. 8. 15	縄文時代	
17	井狩遺跡	小管村3141番地	小管村教委	試掘	58. 7. 21～58. 7. 31	縄文中期	
18	松原遺跡	一宮町東原733、734	一宮町教委	果実出荷施設(試掘)	58. 7. 2～58. 8. 31	古墳時代前期 平安時代	
19	道生堀遺跡	都留市つる五丁目600番地 他	都留市教委	試掘	58. 7. 16～59. 3. 31	縄文前期・中世	V字溝

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
24	義清神社内遺跡	昭和町西条	昭和町教委	学術調査	60. 8. 24～60. 10. 15	中世	
25	野添遺跡	高根町東井出	泉拓良	学術調査	60. 8. 21～60. 11. 30	縄文時代	
26	上の東遺跡	甲西町塚原	甲西町教委	畑総	60. 10. 1～60. 10. 31	縄文時代	
27	宮間田遺跡	武川村三吹	武川村教委	圃場整備事業	60. 7. 19～60. 10. 16	平安時代	
28	熊久保遺跡	中道町上向山	中道町教委	グランド造成	60. 8. 19～60. 8. 31	縄文時代	
29	於曽屋敷	塩山市下於曽532～6	山梨県教委	建物改築	60. 9. 18～60. 9. 30	中世	土橋・門址
30	智光寺遺跡	境川村藤垈字智光寺	山梨県教委	畑管埋設	60. 10. 15～60. 12. 27	古墳時代	
31	切附遺跡	境川村藤垈字切附	山梨県教委	畑管埋設	60. 10. 15～60. 12. 27	古墳時代	
32	弥二郎遺跡	豊富村関原	山梨県教委	畑管埋設	60. 10. 15～60. 12. 27	中世	
33	横畑遺跡	豊富村大鳥居	山梨県教委	畑管埋設	60. 10. 15～60. 12. 27	弥生時代	
34	別当遺跡	長坂町大八田	長坂町教委	圃場整備事業	60. 10. 26～60. 11. 30	中世	
35	牛石遺跡	都留市厚原字牛石	都留市教委	農村整備事業	60. 11. 1～61. 3. 20	縄文時代	
36	休遺跡	櫛形町下市之瀬	櫛形町教委	工業団地造成	60. 11. 15～61. 1. 31		
37	本郷遺跡	甲府市善光寺三丁目	甲府市教委	市営住宅建設	60. 11. 15～61. 1. 18	中世	
38	一の森経塚	甲府市上積翠寺町1855	市史編纂委員会	学術調査	60. 11. 18～60. 12. 30	中世	
39	弥治郎塚	豊富村木原字弥治郎	豊富村教委	土採取	60. 10. 2～60. 10. 5	弥生時代	
40	宮の前遺跡	敷島町牛句	敷島町教委	建物建設	60. 11. 18～60. 11. 30	縄文時代	
41	小手指遺跡	須玉町若神子	須玉町教委	道路新設	60. 12. 12～60. 12. 13	中世	
42	甲斐国分寺跡	一宮町国分	一宮町教委	範囲確認調査	61. 2. 1～61. 3. 31	古代	
43	東光寺庭園遺跡	甲府市東光寺3～7～37	甲府市教委	庭園整備	61. 2. 14～61. 3. 10	中世	

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
40	曽根遺跡	櫛形町上宮地字曽根821・824 893～895・912～918	櫛形町教委	農道拡幅	58. 9. 1～ 58. 10. 31	弥生～古墳時代	
41	六科山古墳	櫛形町平岡字六科山	櫛形町教委	宅地造成	58. 10. 1～ 58. 10. 31	古墳時代前期	
昭和59年度					59		
1	飯田一丁目遺跡	甲府市飯田一丁目	山梨県教委	宿泊施設建設	59. 4. 10～ 59. 5. 31	弥生～古墳時代	遺物プラ箱３～４
2	柳坪遺跡	長坂町大八田字柳坪	山梨県教委	中央道インター建設	59. 4. 10～ 60. 3. 31	縄文・平安時代	住居30軒
3	朝気遺跡	甲府市朝気１～11 他	甲府市教委	小学校建設他	59. 4. 16～ 59. 8. 31	弥生～古墳時代	木製品、カゴ
4	念場原遺跡 (丘の公園14番ホール)	高根町清里字念場原	山梨県教委	ゴルフ場建設	59. 5. 1～ 59. 5. 31	旧石器時代	
5	小和田館跡	長坂町大八田字小和田	長坂町教委	圃場整備事業	59. 4. 20～ 59. 9. 29	中世	古銭６～7000枚、和鏡出土 中世の集落址
6	東久保北遺跡	高根町村山北割	高根町教委	圃場整備事業	59. 5. 21～ 59. 8. 30	平安時代	
7	清水遺跡	甲西町清水字巾下	甲西町教委	保育園建設	59. 4. 25～ 59. 4. 28	縄文時代	遺構なし
8	東姥神Ｂ遺跡	大泉村西井出	大泉村教委	圃場整備事業	59. 4. 27～ 59. 6. 20	平安時代	
9	上野山遺跡	櫛形町上野	櫛形町教委	農道改良工事	59. 5. 1～ 59. 6. 31	中世	
10	新井下遺跡	高根町村山北割	高根町教委	圃場整備事業	59. 4. 20～ 59. 5. 20	縄文時代	
11	中田小学校遺跡	韮崎市中田町字西町	韮崎市教委	圃場整備事業	59. 5. 20～ 59. 9. 30	平安時代	
12	帰り久保遺跡	御坂町金川原字帰り久保	御坂町教委	工業団地造成	59. 5. 28～ 59. 6. 30	古墳時代	
13	根古屋遺跡	白州町台ヶ原字根古屋	白州町教委	圃場整備事業	59. 6. 1～ 59. 7. 31	縄文時代	
14	宮原遺跡	都留市法能923	都留市教委	学校改築	59. 6. 1～ 59. 8. 31	縄文時代	
15	宮之上遺跡	勝沼町勝沼字宮之上	勝沼町教委	駐車場造成	59. 6. 1～ 59. 6. 30	縄文時代	
16	国分寺関連遺跡	一宮町国分字北前田586-3・585	一宮町教委	公民館建設	59. 8. 1～ 59. 9. 10	奈良時代	
17	大蔵経寺裏支群第15号墳	石和町松本1459	山梨学院大学考古研	学術調査	59. 7. 20～ 59. 7. 31	古墳時代	

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
18	原の前遺跡	須玉町上津金	須玉町教委	圃場整備事業	59. 7. 2～59. 8. 31	縄文時代	
19	向原遺跡	武川村黒沢字向原1776	武川村教委	学術調査	59. 8. 17～59. 8. 31	縄文・奈良時代	
20	野添遺跡	高根町東井出字野添	八ヶ岳南麓遺跡学術調査団	学術調査	59. 8. 1～59. 8. 25	縄文時代	住居1軒
21	御輿休場遺跡	富士吉田市小明見字御輿休場3227	富士吉田市教委	土採取	59. 8. 1～60. 3. 31	縄文時代前期	
22	大平遺跡	長坂町中島字大平	長坂町教委	ゴルフ場建設	59. 9. 1～59. 9. 20	平安時代	遺構なし（旧石器出土）
23	中畑遺跡	中道町中畑字滝戸原1127 他	中道町教委	農村地域定住事業	59. 9. 10～59. 9. 30	縄文時代	遺構なし
24	川又遺跡	須玉町穴平3220 他	須玉町教委	圃場整備事業	59. 9. 17～59. 11. 10	縄文時代～平安時代	
25	村上遺跡	中道町右左口字村上931 他	山梨県教委	畑管埋設	59. 10. 1～59. 12. 15	縄文時代	
26	上野原遺跡	中道町右左口字上野原825	山梨県教委	畑管埋設	59. 10. 1～59. 12. 15	縄文時代	
27	後呂遺跡	中道町右左口字郷戸3155	山梨県教委	畑管埋設	59. 10. 1～59. 12. 15	弥生時代～古墳時代	
28	浜井場遺跡	豊富村関原字浜井場1560	山梨県教委	畑管埋設	59. 10. 1～59. 12. 25	縄文～弥生時代	
29	上の平遺跡	八代町米倉2087 他	八代町教委		59. 10. 1～59. 12. 35		
30	前田遺跡	小淵沢町下笹尾1348 他	小淵沢町教委	圃場整備事業	59. 10. 1～59. 11. 30	平安時代	住居10軒
31	朝日遺跡	中道町上曽根字朝日4011 他	中道町教委		59. 10. 23～60. 1. 1		
32	物見塚遺跡	境川村寺尾4103 他	境川村教委		3		
33	若神子城(北城)	須玉町若神子字小手差2808 他	須玉町教委	範囲確認調査	59. 10. 15～59. 10. 30	中世	
34	机遺跡	境川村小黒坂字手古松2266～54	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20～60. 3. 31	縄文時代	
35	寺平遺跡	境川村小黒坂字手古松2210～75	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20～60. 3. 31	縄文時代	
36	亀の子A遺跡	境川村小黒坂字手古松2220～65	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20～60. 3. 31	縄文時代	
37	亀の子B遺跡	境川村小黒坂字手古松2189～15	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20～60. 3. 31	縄文時代	

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
38	亀の子C遺跡	境川村小黒坂字手古松2189～29	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20～60. 3. 31	縄文時代	
39	砂原山遺跡	境川村小黒坂字手古松2268～22	境川村教委	ゴルフ場建設		縄文時代	
40	登畦遺跡	豊寅村大鳥居字登畦2506～1	豊富村教委	土採取	59. 12. 20～59. 12. 27	縄文時代	
41	大竹遺跡	西桂町下暮地2887 他	西桂町教員	農道改良工事	60. 2. 28	縄文時代	
42	坂井南遺跡	韮崎市藤井町北下条字大原	韮崎市教委	工場建設	60. 2. 1～60. 2. 28	古墳時代	
43	川又坂上遺跡	高根町箕輪新町字川又坂上	高根町教委	圃場整備事業	59. 12. 1～59. 12. 31	縄文時代	
44	横根積石塚39号墳	甲府市横根町1156	甲府市教委	積石塚古墳群成因調査	60. 2. 1～60. 2. 28	古墳時代	
45	浜井場遺跡	豊富村関原字浜井場	豊富村教委	土採取	60. 2. 4～60. 2. 10	弥生時代	
46	関原遺跡	豊富村関原	豊富村教委	土採取	60. 2. 18～60. 2. 23	縄文時代	
47	机遺跡	境川村小黒坂字手古松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 11～6 60. 6. 29	縄文時代	
48	寺平遺跡	境川村小黒坂字手古松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 11～60. 6. 29	縄文時代	
49	亀の子A遺跡	境川村小黒坂字手古松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 11～60. 6. 29	縄文時代	
50	砂原山遺跡	境川村小黒坂字手古松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 16～60. 6. 29	縄文時代	
51	羅漢寺廃寺遺跡	敷島町吉沢字羅漢山	敷島町教委	寺院配置の解明	60. 3. 1～60. 10. 31	中世	
52	坂井南遺跡	韮崎市藤井町北下条字大原	韮崎市教委	工場建設	60. 3. 1～60. 12. 28	古墳時代	
53	南山遺跡	増穂町春米字南山	増穂町教委	仏教関連遺跡実態調査	59. 8. 1～	中世	泥塔
54	奥薄久保遺跡	富士吉田市小明見字奥薄久保3670	富士吉田市教委	土採取	59. 8. 1～60. 3. 31	縄文時代	

昭和60年度

1	諏訪前南遺跡	中道町中畑字諏訪前	中道町教委	土採取	60. 4. 15～60. 4. 25	縄文時代	
2	向山遺跡	中道町中畑字松林	中道町教委	土採取	60. 4. 15～60. 4. 25	縄文時代	
3	筑前原塁址	一宮町東原字宮東	一宮町教委	宅地造成	60. 5. 7～61. 3. 31	古代・中世	堀跡・土塁・建物址

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
4	柳坪遺跡	長坂町大八田字三反田	長坂町教委	中央道長坂インター	60. 5. 20～60. 6. 4	縄文～平安時代	
5	かんかん塚古墳	中道町下曽根字岩清水	山梨県教委	公園整備	60. 5. 25～60. 6. 14	古墳・中世	
6	心経寺上之原遺跡	中道町心経寺字横畑	中道町教委	土採取	60. 5. 24～60. 5. 31	縄文時代	
7	上の平遺跡	中道町下向山字上の平	山梨県教委	公園整備	60. 6. 15～60. 11. 15	縄文・弥生	
8	豆生田第三遺跡	大泉村谷戸	大泉村教委	圃場整備事業	60. 6. 1～60. 7. 30	平安時代	
9	金山遺跡	韮崎市中田町中条	韮崎市教委	圃場整備事業	60. 7. 1～61. 3. 31	縄文時代	
10	下木戸遺跡	韮崎市中田町小田川	韮崎市教委	圃場整備事業	60. 7. 1～61. 3. 31	縄文時代	
11	中道遺跡	韮崎市中田町小田川	韮崎市教委	圃場整備事業	60. 7. 1～61. 3. 31	縄文時代	
12	石堂遺跡	高根町東井出	高根町教委	圃場整備事業	60. 7. 1～60. 8. 31	縄文時代	
13	西ノ原遺跡	高根町村山西割	高根町教委	圃場整備事業	60. 6. 1～60. 6. 30	縄文時代	
14	朝気遺跡	甲府市朝気1～9	甲府市教委	道路新設	60. 7. 1～60. 8. 10	古墳時代	
15	宮原遺跡	小淵沢町5672 他	小淵沢町教委	圃場整備事業	60. 7. 1～61. 3. 31	中世	地下式土坑2 掘建建物址2
16	御屋敷遺跡	須玉町下津金	須玉町教委	圃場整備事業	60. 7. 22～61. 3. 31	平安時代	
17	儀生遺跡	須玉町江草	須玉町教委	圃場整備事業	60. 7. 22～61. 3. 31	縄文時代	
18	川又南遺跡	須玉町穴平	須玉町教委	圃場整備事業	60. 7. 12～61. 3. 31	縄文・平安時代	
19	横根積石塚9号墳	甲府市桜井町808 他	甲府市教委	農道改良	60. 7. 14～60. 9. 30	古墳時代	
20	小和田館跡	長坂町大八田	長坂町教委	圃場整備事業	60. 7. 10～60. 10. 10	中世	
21	駒井遺跡	韮崎市藤井町駒井	山梨県教委	県道改良	60. 7. 22～60. 8. 31	中世	
22	新田遺跡	双葉町団子新居	双葉町教委	圃場整備事業	60. 7. 22～60. 7. 26	縄文時代	
23	清水端遺跡	明野村上手	明野村教委	圃場整備事業	60. 7. 22～60. 9. 20	中世	

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
20	間門遺跡	境川村	境川村教委	土採取	58. 8. 1～ 58. 8. 3	縄文前期・古墳時代前期	
21	久保屋敷遺跡	韮崎市旭町上条北割 字久保屋敷440－1 他	山梨県教委	畑管埋設	58. 8. 8～ 58. 10. 15	縄文早・中・弥生中・古墳時代	縄文早期の土拡・弥生中期土拡・古墳時代前期の住居4軒
22	勝沼氏館跡	勝沼町勝沼3289 他	山梨県教委	畑管埋設	58. 10. 1～ 58. 12. 15	中世	
23	藤垈遺跡	境川村藤垈字切附229 他	山梨県教委	畑管埋設	58. 10. 1～ 58. 12. 15	縄文・平安時代	
24	市川北遺跡	山梨市市川平丸2848	山梨県教委	畑管埋設	58. 10. 1～ 58. 12. 15	縄文中期	
25	一の沢遺跡	境川村小黒坂立石498 他	山梨県教委	畑管埋設	58. 10. 1～ 58. 12. 15	縄文前・中・後期・古墳後期	縄文11軒、土拡100 古墳1軒、
26	手古松遺跡	境川村手古松2210－10 他	山梨県教委	畑管埋設	58. 10. 1～ 58. 12. 15	平安時代	住居1軒
27	三百水遺跡	韮崎市穂坂町大字三ツ沢 字中坊来石711 他	韮崎市教委	工場建設	58	縄文中期	
28	東姥神遺跡	大泉村西井出4284番地	大泉村教委	圃場整備事業	58. 9. 19～ 58. 11. 20	縄文中・平安時代	
29	五里原遺跡	八代町南119番地 他16筆	八代町教委	畑総	58. 11. 1～ 58. 12. 25	平安時代	住居3軒、溝、配石(古墳)
30	原平遺跡	大月市大月町真木字原平691 外 128筆	大月市教委	工業団地	58. 11. 25～ 59. 12. 31	縄文早・前・中・後期・平安時代	
31	梅木田遺跡	韮崎市旭町上条西割 字梅木田598番	韮崎市教委	住宅建設	58. 11. 10～ 59. 3. 31	古墳時代	
32	横畑遺跡	御坂町井之上830－1	御坂町教委	集会施設建設	59. 12. 9～ 58. 12. 19	縄文前・中期古墳時代	住居1軒
33	宇山平遺跡	豊富村字高部字東林1438	豊富村教委	土採取	59. 2. 18～ 59. 2. 20	古墳時代・中世	
34	清水遺跡	甲西町大字清水字中下 27、28、29、30、33、34	甲西町教委	町立保育園建設	59. 3. 5～ 59. 3. 7	縄文時代	
35	釈迦堂遺跡	一宮町千米寺字塚越北706 外 南野呂字原1207－1 外	一宮町教委	範囲確認調査	58. 3. 12～ 59. 3. 27	縄文時代	
36	北原遺跡	甲府市東光寺町字北原1377外	甲府市教委	地場産業振興センター建設	59. 11. 1～ 59. 1. 31	古墳時代	
37	大塚古墳	敷島町境258	敷島町教委	学術調査	58. 3. 16～ 59. 3. 20	古墳時代	
38	大善寺中世墓群	勝沼町勝沼8553	勝沼町教委	学術調査	58. 9. 5～ 59. 3. 31	中世	
39	宮之上遺跡	勝沼町勝沼字宮之上	勝沼町教委	確認調査	58. 12. 15～ 59. 3. 31	縄文中期	

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
44	赤坂孤塚古墳	竜王町竜王794～13	竜王町教委	範囲確認調査	61. 3. 22～61. 3. 31	古墳時代	
45	下宮地遺跡	甲西町下宮地	甲西町教委	建物建設	61. 2. 22～61. 2. 26	平安時代	
46	八乙女遺跡	境川村藤垈	境川村教委	範囲確認調査	61. 3. 7～61. 3. 8	古墳時代	

昭和61年度

1	上の平遺跡	中道町下向山字上の平1134 他	山梨県教委	道路建設	61. 4. 25～61. 9. 30	縄文・弥生	5,400㎡
2	尾咲原遺跡	都留市朝日馬場544～1	都留市教委	学校建設	61. 5. 18～61. 7. 31	縄文時代	2,100㎡
3	メ木遺跡	櫛形町下市之瀬字メ木1225 他	櫛形町教委	工業団地建設	61. 5. 20～61. 8. 31	縄文・奈良・平安・中世	6,000㎡
4	下宮地遺跡	甲西町大字下宮地字滝沢通	甲西町教委	店舗建設	61. 4. 28～61. 5. 7	古墳・平安	800㎡
5	西川遺跡	須玉町穴平2660 他	須玉町教委	圃場整備事業	61. 5. 15～61. 9. 30	縄文・平安	13,500㎡
6	石堂遺跡	高根町東井出	高根町教委	圃場整備事業	61. 5. 15～61. 8. 31	縄文時代	1,800㎡
7	羅漢寺廃寺跡	敷島町吉沢字羅漢山	敷島町教委	学術調査	61. 5. 26～61. 5. 36	中世	50㎡
8	宮の脇遺跡	甲府市善光寺二丁目字宮ノ脇2263～1 他	甲府市教委	学校建設	61. 6. 1～61. 6. 30	縄文・平安	500㎡
9	清里の森第1遺跡	高根町清里県有林内	山梨県教委	公園造成	61. 6. 2～61. 7. 31	縄文時代	2,000㎡
10	鷹の巣遺跡	高根町東井出字鷹の巣	高根町教委	圃場整備事業	61. 6. 6～61. 8. 31	縄文時代	10,000㎡
11	神ノ木・大正寺遺跡	高根町村山西割字大正寺	高根町教委	圃場整備事業	61. 6. 1～61. 8. 31	縄文・平安	10,000㎡
12	御屋敷西遺跡	須玉町下津金1081 他	須玉町教委	圃場整備事業	61. 5. 6～61. 9. 30	縄文・平安	4,200㎡
13	甲斐国分寺遺跡（北庭遺跡）	一宮町国分寺字堀米389	一宮町教委	住宅建設	61. 6. 1～61. 6. 30	縄文・平安	295.97㎡
14	坂下遺跡	白州町白須字坂下4221 他	白州町教委	圃場整備事業	61. 11. 1～61. 12. 31	縄文・弥生・平安	3,300㎡
15	無名墳	中道町下曽根小字岩清水945 他	山梨県教委	公園整備	61. 6. 5～61. 6. 12	古墳時代	47㎡
16	宮間田遺跡	武川村三吹字宮間田1337 他	武川村教委	圃場整備事業	61. 6. 6～61. 9. 30	平安・中世	12,000㎡

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
17	丘の公園内遺跡群	高根町清里字念場原	山梨県教委	公園造成	61. 6. 10～ 61. 8. 31	旧石器・縄文	20,000㎡
18	中本田遺跡	韮崎市穴山町字中本田	韮崎市教委	圃場整備事業	61. 7. 1～ 62. 3. 31	縄文時代	2,000㎡
19	姥神遺跡	大泉村西井出3356	大泉村教委	圃場整備事業	61. 6. 12～ 62. 3. 31	縄文時代	5,000㎡
20	堂の前遺跡	韮崎市藤井町坂井字堂の前53他	韮崎市教委	圃場整備事業	61. 7. 1～ 62. 3. 31	平安時代	6,000㎡
21	小瀬氏館跡	甲府市小瀬町589・590 他	甲府市教委	河川改修	61. 6. 20～ 61. 7. 10	中世	400㎡
22	石上り遺跡	小淵沢町6325・6326	小淵沢町教委	圃場整備事業	61. 6. 16～ 62. 3. 31	平安時代	4,000㎡ 住居3軒 他
23	カイル遺跡	上野原町棡原字カイル	上野原町埋蔵文化財調査会	ゴルフ場建設	61. 8. 8～ 61. 11. 30	縄文時代	120㎡
24	穴沢遺跡	上野原町棡原字穴沢	上野原町埋蔵文化財調査会	ゴルフ場建設	61. 8. 8～ 61. 11. 30	縄文時代	3,000㎡
25	権現堂遺跡	増穂町大字春米字南山2457	増穂町教委	学術調査	61. 9. 13～ 62. 3. 31	中世	100㎡
26	郷蔵地遺跡	須玉町大字比志字坂下3038-2他	山梨県教委	道路建設	61. 10. 1～ 61. 11. 30	縄文・平安	1,964㎡
27	一の沢西・立石・金山	境川村小黒坂696－1 他	境川村教委	道路建設	61. 9. 2～ 61. 11. 30	縄文時代	5,500㎡
28	普門寺遺跡	明野村上手8738 他	明野村教委	圃場整備事業	61. 9. 16～ 62. 3. 31	平安・中世	647㎡
29	築地3号墳 築地4号墳	一宮町国分字築地920－6	一宮町教委	農業関連	61. 9. 24～ 62. 3. 31	古墳時代	500㎡
30	一の沢北遺跡	境川村小黒坂字立石709 他	山梨県教委	畑管埋設	61. 10. 1～ 61. 11. 15	縄文時代	500㎡
31	山口遺跡	豊富村関原字山口153 他	山梨県教委	畑管埋設	61. 10. 13～ 61. 10. 18	縄文・平安	437㎡
32	天神下遺跡	一宮町土塚字天神堂458 他	山梨県教委	畑管埋設	61. 10. 13～ 61. 10. 18	平安時代	100㎡
33	岩清水遺跡	中道町下曽根小字岩清水929 他	山梨県教委	公園整備	61. 10. 1～ 61. 11. 30	弥生時代	2,600㎡
34	寺本廃寺遺跡	春日居町寺本	春日居町教委	学術研究	61. 10. 27～ 61. 12. 27	奈良時代	400㎡
35	真道沢遺跡	八代町南小字真道沢1615-1 他	八代町教委	宅地造成	61. 10. 3～ 61. 10. 15	弥生・古墳 奈良・平安	6,263㎡
36	甲斐国分寺遺跡	一宮町国分210・211・214	一宮町教委	学術調査	61. 11. 1～ 62. 3. 25	奈良・平安	150㎡

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
37	荒神山窯跡遺跡	山梨市東576番地	山梨市教委	農業関連	61. 11. 1～62. 2. 28	平安時代	54㎡
38	東光寺庭園遺跡	甲府市東光寺町三丁目1949番地	甲府市教委	庭園整備	61. 6. 23～61. 9. 30	中世	1,485㎡
39	池之元遺跡	富士吉田市新倉字池之元2009他	富士吉田市教委	学術調査	61. 8. 18～61. 10. 11	縄文・平安時代	350㎡
40	本郷遺跡	甲府市善光寺町三丁目1923、	甲府市教委	住宅建設	61. 7. 21～61. 8. 31	縄文・古墳・中世	700㎡
41	釈迦堂遺跡群塚越北B地点	一宮町千米寺字塚越北	博物館組合	博物館建設	61. 10. 9～61. 10. 18	縄文時代	500㎡
42	天狗沢窯跡	敷島町天狗沢北川	敷島町教委	学術調査	61. 12. 10～61. 12. 17	奈良時代	891㎡
43	牛石遺跡	都留市厚原字牛石	都留市教委	道路建設	61. 12. 10～62. 3. 30	縄文・奈良・平安	1,400㎡
44	三光神遺跡	八代町永井	八代町教委	道路建設	61. 12. 11～62. 3. 31	縄文～奈良	500㎡
45	糀屋敷遺跡	長坂町白井沢	長坂町教委	圃場整備事業	61. 7. 1～62. 3. 25	縄文・近世	3,620㎡
46	別当遺跡	長坂町大八田	長坂町教委	圃場整備事業	61. 7. 1～62. 3. 25	縄文時代	8,250㎡
47	別当十三塚遺跡	長坂町大八田	長坂町教委	圃場整備事業	61. 7. 1～62. 3. 25	近世	1,000㎡
48	深草遺跡	長坂町大八田	長坂町教委	圃場整備事業	61. 7. 1～62. 3. 25	平安時代	1,430㎡
49	国府遺跡	春日居町国府	春日居町教委	学術調査	62. 1. 20～62. 1. 27	古墳・奈良・近世	30㎡
50	流間遺跡	若草町加賀美	若草町教委	宅地造成・工場	62. 2. 4～62. 2. 6	平安・中世	2,724㎡
51	焔硝倉遺跡	身延町下山字鶴巻	山梨県教委	公園造成	62. 2. 4～62. 2. 5	中世	000㎡
52	熊久保遺跡	中道町下向山熊久保	中道町教委	駐車場	62. 2. 22～62. 3. 31	縄文・弥生	2,382㎡
53	武田氏館跡	甲府市古府中町1310、1311	甲府市教委	遺構確認	62. 2. 20～62. 3. 31	中世	430㎡
54	蔵福遺跡	八代町増利字沢の木	山梨県教委	道路建設	62. 3. 2～62. 3. 31	弥生・古墳・中世	
55	関山遺跡	上野原町上野原関山 他	山梨県教委	道路建設	62. 3. 9～62. 9. 30	縄文・平安・中世	21,800㎡
56	小瀬氏館跡	甲府市小瀬町590番地 他	甲府市教委	河川改修	62. 3. 2～62. 3. 31	中世	800㎡

1987年３月25日　印刷
1987年３月31日　発行

年　　報　3

発行所　山梨県埋蔵文化財センター
印刷所　株式会社　少　國　民　社